



○ 株式会社ビズジーン

- ・ 設 立 : 2018年(平成30年)4月2日
- ・ 資 本 金 : 2, 000万円
- ・ 代 表 : 代表取締役 開発 邦宏 (Ph. D)
- ・ 事業内容 : ウイルスの迅速検出技術、病原体やヒトの遺伝子診断技術、ウイルス濃縮技術
- ・ 特筆事項 :
 - 2018年(平成30年) 5月 近畿経済産業局経営力向上計画 認定
 - 2018年(平成30年) 8月 中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業) 採択
 - 2018年(平成30年)10月 おおさか地域産業資源活用サポート事業助成金 採択

<事業紹介>

- [研究開発] ウイルスの迅速検出技術/病原体やヒトの遺伝子診断技術/ウイルス濃縮技術
- [受託研究] 病原体やヒト遺伝子の定量、検出、診断系の構築/遺伝子変異の同定/ウイルスや細菌の蛋白質解析/化学修飾ペプチド核酸合成、化学修飾ペプチド合成/イムノクロマト試作/ウイルス培養、細菌培養

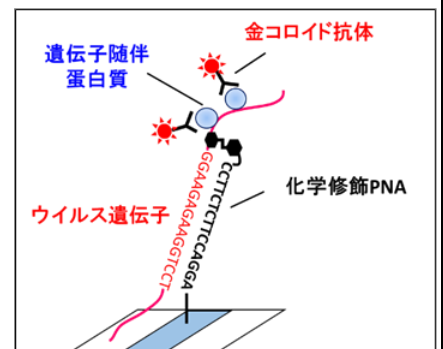
<注目点>

「ペプチド核酸を用いた感染症及び遺伝子診断技術」

- ・ PCR や DNA マイクロアレイなどの既存の遺伝子検査技術に対して、同社が開発した遺伝子解析手法ならびに迅速かつ高感度診断を目的とした最新の核酸技術。
- ・ 近年世間を騒がすウイルスや細菌感染症について、その対策はもちろん解析技術にも注目が集まっている。ウイルスを遺伝子レベルで解析する手法とすることで迅速に可視化できる核酸技術を用いた「受託開発」や「アルコール感受性検査」など自社商品開発に取り組んでいる。
- ・ 例えば、インフルエンザウイルス(以下「インフルエンザ」と表記)の判定では、熟練した技術や高価な装置を必要とせず、迅速で簡便な操作によって各種「インフルエンザ」ゲノムを測定する方法、及びその測定キットの提供が可能になる。

【具体手段 例1】

- ・ 例として下記1~3を含む、検体中の「インフルエンザ」を定性的に測定する方法を確立済み。
 1. 「インフルエンザ」を含有する検体と溶解液を混合し、「インフルエンザ」のゲノムを抽出する工程
 2. 工程1. にて得られる抽出液を、特定のアゾベンゼン化合物(1)と接触させ、前記「インフルエンザ」のゲノムと前記アゾベンゼン化合物(1)との複合体を形成させる工程。
 3. 工程2. によって形成された複合体に対して、あてはまる「インフルエンザ」のゲノムが有するヌクレオタンパクに対する抗体を作用させ、あてはまる抗体の結合を基に「インフルエンザ」を検出する工程。
 以上の3段階だけで、「インフルエンザ」の検出が可能となる。



【具体手段 例2】

- ・ 遺伝子検査の迅速性と簡便性を活用し、簡単にアルコール依存症などのリスクを判定できる遺伝子検査キットを提供。
- ・ アルコールの代謝能力の違いについて、複数の遺伝子を調べ、お酒との相性や飲んではいけないタイプまで、安価に簡便な方法で調べるサービスを展開。
- ・ 検査キットや検査結果レポートは「アルコール型診断タイプ」、「相性診断タイプ」の2種類を用意。特殊なイメージのある遺伝子検査に対して、多くの方々に関心を持っていただくため、より楽しく・親しみやすい誌面構成とした。



<連絡先>

株式会社ビズジーン

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 8-1 大阪大学 産業科学研究所 オープンイノベーション棟 OI-104
 TEL : 06-4864-4566 FAX : 06-6170-4635 MAIL : info@visgene.com URL : <http://www.visgene.com/>